

第3章 健康・福祉 第3節 高齢者福祉

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト	活動実績(H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成できた。	H30年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	727千円	661千円	①スポーツ大会参加者	総参加者数	生きがいや心身の健康の向上を目指して、多くの高齢者に参加してもらうことを指標としている。				H30年度に改善した点		
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②囲碁将棋大会参加者	H29年度目標		H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
	各種大会等開催要綱	694千円	590千円	③演芸大会参加者		H30年度目標					H30実績		
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標		H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	スポーツや文化交流等を通じて相互の親睦を深めることにより、生きがいを高めて健康増進を図る。各種運営委員会を設置しスポーツ大会や演芸大会、囲碁将棋大会などを開催する。	0.52人	0.00人			①1,016人					1,700人		
期間	S51年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③361人	R元年度目標		1,400人	評価者	高齢者支援課長 新井 浩殿				
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標に対して90%以上の概ね有意義であったと回答を得ているが、応募状況は90%以下となっている。	H30年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,265千円	1,084千円	①応募状況(応募者/定員数(160人)×100)	学生生活の有意義率	講座を履修しながら生きがいづくりや仲間づくりを行い、市の行事に積極的に参加したり、自主的に団体を作り活動する高齢者を育むことを目標としている。本講座において有意義な時間だったかを指標としている。				事業の見直しにより新規の講座を設定したり、公開講座を類似事業と統合した。		
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②卒業証書授与率(卒業証書授与者数/受講者数×100)	H29年度目標		H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
	所沢市高齢者大学開設要綱、所沢市高齢者大学運営要綱	1,038千円	663千円	③講座回数		H30年度目標					H30実績		
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標		H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析					
	高齢者に生涯学習の一環として学習の機会を提供し、社会環境の変化に対応する能力と心身の健康を養う。それと同時に、学習を通じより多くの仲間づくりを行い、交流を深め高齢者の生きがい創造を果たすもの。	0.55人	0.00人			①82.5%(132人/160人×100)					100%		
約1年間、60歳以上の高齢者が約50講座を受講し、クラブ活動や委員会活動等を自主的に行う。	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②90.3%(93人/103人×100)	100%	94.0%	100%	評価者	高齢者支援課長 新井 浩殿					
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値を僅かに達成出来なかったが、平成30年度は夏の猛暑(7月から9月)によるものと考えられ、その期間を除けば、毎年、同程度の利用者は獲得出来ている。	H30年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	187,767千円	183,399千円	①延利用者数(個人)	・H30延利用者数 342,187人(個人利用者数+団体利用者数)	高齢者の、趣味や教養の向上、健康増進の拠点(居場所)となるのが事業の目的となるため、個人、団体の延べ利用者数を指標とする。				男性利用者が少ない傾向にあるため、男性利用者の獲得を目標とし、より男性が参加しやすい教養講座を開催した。		
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②延利用者数(団体)	H29年度目標		H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
	所沢市立老人福祉センター設置及び管理条例、所沢市立老人憩の家設置及び管理条例、老人福祉法	222,843千円	213,103千円	実績		H30年度目標					H30実績		
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合		①184,959人		H29年度目標	H29実績					
	地域の高齢者の健康と生きがいの増進、教養の向上、介護予防の推進のため、レクリエーションの場を提供し、また、高齢者からの相談に応じ適切な援助を行う。	7.65人	0.00人	②157,228人		345,000人					344,528人		
期間	S50年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③49講座	R元年度目標		347,000人	評価者	高齢者支援課長 新井 浩殿				
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	概ね目標値を達成している。今後も地域包括ケアシステムの深化・推進のため、介護保険法に定められた評価等を的確に実施し業務改善を進めていく。また、会議をスムーズに進行し、計画されている事例数を検討できるようにしたい。	H30年度に改善した点	無	無
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	339,444千円	329,359千円	①被支援者延べ人数	市全体での個別事例の検討件数	地域ケア個別会議を開催することにより ● 高齢者の個別課題解決に対する支援 ● ネットワークの構築 ● 地域課題の発見 ● 自立支援に資するケアマネジャーのケアマネジメントの実践力向上を図る				第2層生活支援コーディネーターの委託開始により、介護予防教室等の関連する委託事業の回数等を変更した。		
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②高齢者人口	H29年度目標		H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
	介護保険法	347,081千円	341,328千円	実績		H30年度目標					H30実績		
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合		①38,551		H29年度目標	H29実績					
	地域包括支援センター運営事業	1.03人	0.00人	②91,666		30件					32件		
期間	H18年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		60件	59件	90件	評価者	高齢者支援課長 新井 浩殿				

第3章 健康・福祉 第3節 高齢者福祉

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど				環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの	
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値より大幅な結果が得られた。今後は単純な人数だけでなく、内容を見直し、充実させて、より効果のある普及啓発に努める。	H30年度に改善した点		無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	9,490千円	9,232千円	①地域の医療・介護資源の把握	～H29 市民向け公開講座の開催回数	在宅医療介護を推進するためには、専門職同士の連携体制を構築することと同時に、在宅でのサービスを受けるために必要な情報を周知し、利用者のニーズの拡大も必要となるため。				H30年度目標				H29実績	
	在宅医療・介護連携推進事業	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②医療・介護関係者の情報共有の支援	H30 在宅医療介護の普及啓発を行なう人数	H30目標値が未達成の理由・分析				H29年度目標				H29実績	
		介護保険法	18,763千円	15,758千円	③市民への普及啓発	実績	H30目標値が未達成の理由・分析				H30年度目標				H30実績	
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①在宅医療機関一覧等資源把握情報の作成・更新	H29年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				H29実績				H29実績	
	期間	H28年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②ICTツールの運用支援(研修・登録代行等)	H30年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				H30実績				H30実績	
			H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	③市民向け公開講座の開催	R元年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				R元年度目標				R元年度目標	
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		3,000人	H30目標値が未達成の理由・分析		3,000人		3,000人						
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	成果指標の目標値を達成できなかったが、今後も認知症施策を推進していく。	H30年度に改善した点		無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	10,918千円	10,241千円	①認知症サポーター養成講座受講者数(延べ人数)	認知症カフェ開設数	認知症の普及啓発を図るうえで認知症カフェの開設数を目標値とした。				H29年度目標				H29実績	
	認知症施策推進事業	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②認知症カフェ開設数	実績	H30目標値が未達成の理由・分析				H29年度目標				H29実績	
		介護保険法	13,532千円	11,985千円	①20,365人	H29年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				H30年度目標				H30実績	
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	②15箇所	H29年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				H29実績				H29実績	
	期間	H28年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		H30年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				H30年度目標				H30実績	
			H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合		R元年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				R元年度目標				R元年度目標	
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		20箇所	H30目標値が未達成の理由・分析		20箇所		20箇所						
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成している。今後も生活支援・介護予防サービスの充実を図り、課題解決への取り組みを進めていく。	H30年度に改善した点		無	無		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	32,510千円	31,583千円	①地域資源情報の発信回数	生活支援コーディネーターや協議体の活動を通じて把握する地域資源数	地域資源の把握や共有を行うとともに、解決策の検討を図ることから、地域資源の把握数を目標値とした。				H29年度目標				H29実績	
	生活支援体制整備事業	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②第1層と第2層の情報共有のための会議開催回数	実績	H30目標値が未達成の理由・分析				H29年度目標				H29実績	
		介護保険法	59,600千円	59,599千円	①2回	H29年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				H30年度目標				H30実績	
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	②12回	H29年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				H29実績				H29実績	
	期間	H27年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		H30年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				H30年度目標				H30実績	
			H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合		R元年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				R元年度目標				R元年度目標	
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		312	H30目標値が未達成の理由・分析		312		312						
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	事業の適正な利用について段階的な見直しの検討を実施している状況である。今後、さらに事業の改善を進めていく。	H30年度に改善した点		無	無		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	53,784千円	48,286千円	①年度末時点の機器利用台数	～H30 年度末時点の機器利用台数	利用台数を指標としていたが、制度の適正利用を進めつつ、事業推進をしている。このことから、適切に事業を利用してもらうことの一環である。誤報多発者や一時停止者への利用方法の確認や本人の状況確認等の連絡を実施した件数を目標値としている。				H29年度目標				H29実績	
	一人暮らし高齢者等緊急通報システム事業	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②年度末時点までの新規設置数	H31 誤報多発者等への連絡を実施した件数	H30目標値が未達成の理由・分析				H29年度目標				H29実績	
		所沢市一人暮らし高齢者等緊急通報システム事業実施要綱	51,429千円	44,583千円	①1,376台	H29年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				H30年度目標				H30実績	
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	②124台	H29年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				H29実績				H29実績	
	期間	S60年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		H30年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				H30年度目標				H30実績	
			H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合		R元年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析				R元年度目標				R元年度目標	
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		330件	H30目標値が未達成の理由・分析		330件		330件						

第3章 健康・福祉 第3節 高齢者福祉

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト	活動実績(H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年達成しており、利用率については、一定の成果があげられていると考えている。	H30年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	434千円	383千円	①市内の歩行可能な認知症高齢者数	利用率 (当該年度の利用者数÷市内の歩行可能な認知症高齢者数×100)	市内の歩行可能な認知症高齢者数(要援護高齢者調査による)のうち、およそ3%の利用者数を想定・目標としている。				H30年度に改善した点		
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②利用者数			H29年度目標	H29実績			H30目標値が未達成の理由・分析		
	所沢市徘徊高齢者家族支援事業実施要綱	434千円	361千円	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合 非常勤特別職	H30目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合 非常勤特別職				H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合 非常勤特別職			H30目標値が未達成の理由・分析		
	徘徊行動のある高齢者の早期保護と安全確保を行うことにより、当該高齢者を介護する家族の、肉体的・精神的な負担の軽減及び安心して介護ができる環境整備の促進を図る。	0.32人	臨時職員	①988人	②29人	R元年度目標							
期間	H15年度～	徘徊高齢者にGPS機器を携帯してもらい、徘徊した際、介護している家族が、位置情報(地図上の位置表示・電話でオペレーターからの位置照会等)をもとに早期保護を行う。	2,715千円	臨時職員	3,101千円	臨時職員	3.0%	高齢者支援課長 新井 浩殿					
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成しており、一定の成果があげられている。今後も、事業の適切で効果的な利用に向けた見直しを進めていく。	H30年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	4,620千円	4,333千円	①訪問依頼者延べ人数	定例会・研修会の開催回数	対象者宅を定期的に訪問することを目的とした事業のため、訪問延べ件数を目標値としていたが、近年サービスが多様化してきていることから本事業の適切な利用を進めるための見直しを行っている。平成30年度より、一般のボランティアである相談員の資質向上を図るため、定例会・研修会の実施回数を目標値としている。				H30年度に改善した点		
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②訪問延べ件数			H29年度目標	H29実績			H30目標値が未達成の理由・分析		
	所沢市高齢者みまもり相談員事業実施要綱	4,368千円	4,193千円	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合 非常勤特別職	H30目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合 非常勤特別職				H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合 非常勤特別職			H30目標値が未達成の理由・分析		
	近隣との交流や福祉サービスの利用機会が少ない高齢者等を対象に、希望者の自宅を定期的に訪問し、安否確認を行うとともに、話し相手となることで、高齢者が安心して暮らせる環境を整備し、高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。	0.65人	臨時職員	①451人	②9,051件	R元年度目標							
期間	H14年度～		5,515千円	臨時職員	4,022千円	臨時職員	6回	高齢者支援課長 新井 浩殿					
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を概ね達成している。	H30年度に改善した点	無	無
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	14,000千円	10,200千円	①対象者数	支給達成率 (支給者数261人÷対象者274人のうち入院者等を除いた214人)	わたきり高齢者(要援護高齢者調査による)274人のうち、入院者等を除き、およそ78%の対象者(214人)をベースに支給達成率を100%の目標としている。				H30年度に改善した点		
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②支給者数			H29年度目標	H29実績			H30目標値が未達成の理由・分析		
	所沢市わたきり老人等介護者手当支給要綱	13,000千円	10,440千円	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合 非常勤特別職	H30目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合 非常勤特別職				H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合 非常勤特別職			H30目標値が未達成の理由・分析		
	手当を支給し、わたきりや認知症高齢者等を長期的に在宅介護する者の身体的・精神的負担を軽減することを目的とする。	0.33人	臨時職員	①274人	②261人	R元年度目標							
期間	H8年度～	65歳以上で要介護認定を受け要介護4又は5の状態のわたきり老人等を常時介護している介護者に、年度に1回40,000円を申請により支給するものである。	2,800千円	臨時職員	2,346千円	臨時職員	100.0%	高齢者支援課長 新井 浩殿					
高齢者支援課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	計画どおりに行うことができた	H30年度に改善した点	無	無
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①契約件数	工場の執行に必要な契約	本事業は平成30年度に高圧ケーブルの引替、翌年に負荷開閉器(PAS)本体の交換を行うことを計画目標としている。				H30年度に改善した点		
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	H29年度目標			H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析			特になし。		
	-	987千円	963千円		H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合 非常勤特別職					H30目標値が未達成の理由・分析		
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合 非常勤特別職	H30正規職員人件費			H30その他職員従事割合 非常勤特別職	H30目標値が未達成の理由・分析					
	周辺の近隣住宅等に波及する停電事故を防止するために設置した受電点の高圧交流負荷開閉器(PAS)について、経年劣化が進んでいることから、施設の安全上適正な管理を図るため改修を行うものである。	0.00人	臨時職員		①2件 (工業者、電気検査事業者)	0.00人					R元年度目標		
期間	H30～R元		0千円	臨時職員	1,508千円	臨時職員	50.0%	高齢者支援課長 新井 浩殿					